

## 第 31 回火災防護検討会 議事録

1. 日 時：2024 年 12 月 19 日（木）13 時 30 分～14 時 25 分

2. 場 所：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

出席委員：村松主査(中部電力)，香川副主査(関西電力)，越膳(電源開発)，  
加賀谷(日立 GE ニュークリア・エンジニア)，片岡(日本原子力発電)，近藤(三菱重工業)，  
齋藤(東北電力)，橋本(北陸電力)，原田(四国電力)，平田(北海道電力)，  
松永(中国電力)，宮本(原子力安全推進協会)，吉田(東芝エネルギーシステムズ)  
( 13 名)

代理出席者：前田(九州電力，帆足委員代理) ( 1 名)

欠席委員：菌頭(東京電力 HD) ( 1 名)

常時参加者：辻(日立 GE ニュークリア・エンジニア)，森田(東芝プラントシステム) ( 2 名)

説明者：なし ( 0 名)

事務局：上野，中山，田邊(日本電気協会) ( 3 名)

4. 配付資料

資料 No.31-1 原子力規格委員会 安全設計分科会 火災防護検討会 委員名簿  
(2024 年 12 月 19 日現在)

資料 No.31-2 第 30 回火災防護検討会 議事録（案）

資料 No.31-3 JEAC4626,JEAG4607 次回改定に向けた課題確認

資料 No.31-4-1 2024 年度活動実績及び 2025 年度活動計画(火災防護検討会案)

資料 No.31-4-2 2025 年度各分野の規格策定活動(火災防護検討会案)

資料 No.31-5 ISO 18195 改定作業 CD 意見募集に対する進め方

資料 No.31-5-参考 日本電気協会 原子力規格委員会 運営規約 細則(抜粋)

5. 議 事

事務局から，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，議事が進められた。

(1) 定足数確認

事務局から，代理出席者 1 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき，主査の承認を得た。現時点で代理出席者を含め 14 名の出席であり，分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく議案決議に必要な出席数（委員総数の 3 分の 2 以上）

を満たしていることを確認した。その後、常時参加者 2 名の紹介及び事務局より配布資料の確認があった。

## (2) 委員の変更

事務局より、資料 No.31-1 に基づき、前回検討会以降、下記委員が新委員として承認されたとの紹介があった。その後、新委員の挨拶があった。

- ・新委員 香川 委員（関西電力）                      ・新委員 橋本 委員(北陸電力)
- ・新委員 原田 委員（四国電力）                      ・新委員 宮本 委員(原子力安全推進協会)

## (3) 主査の選出・副主査の指名

村松主査の任期満了に伴い、主査候補の推薦を求めたところ、村松委員が推薦され、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づき Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で村松委員が主査に再任された。

また、村松主査から、香川委員が副主査に指名された。

## (4) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No.31-2 に基づき、前回議事録案の説明があり、特にコメントはなく正式議事録として承認された。

## (5) JEAC4626, JEAG4607 次回改定に向けた課題確認について

村松主査より、資料 No.31-3 に基づき、JEAC4626,JEAG4607 次回改定に向けた課題確認について、現時点においては改定の必要性はなく、2025 年度は改めて最新知見等の確認作業を行い、2026 年度の改定の要否について検討を行いたいとの説明があった。

(主なご意見・コメント)

- ・ 特になし。

## (6) 2025 年度活動計画について

村松主査より、資料 No.31-4-1 及び資料 No.31-4-2 に基づき、JEAG4607 と JEAC4626 について、2024 年度は至近の改定が必要となるような状況の変化はなく、2025 年度は引き続き最新の動向を確認し、改定の要否を継続検討する計画としているとの説明があった。

(主なご意見・コメント)

- ・ 特になし。

## (7) ISO 18195 改定案に対する意見募集について

村松主査より、資料 No.31-5 に基づき、ISO 18195 改定案に対する意見募集の進め方について説明があった。

ISO 18195 改定案に対する意見募集を今回提案した内容で進めるかについて決議の結果、承認された。

### (主なご意見・コメント)

- ・ 現時点で意見募集は来っていないのか。
    - 現在はまだ来ておらず、年明けになる可能性もある。
  - ・ 主査から説明があったとおり、今回の CD 対応期間は非常に短いため、可能な範囲での意見出しを行い、委員各位は今回の CD により理解を深めておいていただき、次のステップの DIS,FDIS ではしっかりとした意見をまとめたいと考えている。
  - ・ 前回どのような対応をしたのか、どのような規格なのか、委員がイメージできるように紹介いただきたい。
    - この規格は、防火区画の耐火性能に関する試験や考え方についてまとめたようなものである。
    - 前回改定時の DIS でも書いているとおり、日本においては国内の規定があり、審査基準の中でも定められているものなので、ISO の改定がすぐに必須となるものではなく、今回の CD では、日本の規制基準と齟齬がないかというところをポイントとして議論して進めればよいのではないかと考えている。
    - 日本においては、火災区画は 3 時間耐火あるいは 1 時間での感知・消火となっており、また、その妥当性を「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」で評価することになっており、日本は日本として確立されているため、ISO 改定が日本の規制に反映されない限り、影響はないとの趣旨で記載している。今回の改定においても、基本的な方針は変わらないものと考えている。
  - ・ ISO 18195 の CD については、今回提案したとおり、基本的には主査・副主査に任せいただくことで進めてよいかについて決議を取りたいと考える。
- 特に異論がなかったので、ISO 18195 の意見募集対応を今回提案した進め方で対応するかについて分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき、Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。
- ・ 今後の DIS,FDIS については、賛成・反対の意思表示が必要となるので、今回の CD で理解を深めておいていただき、DIS,FDIS においては、しっかりと対応できるように準備をしておくよう、願います。

(8) その他

1) 次回火災防護検討会開催について

- ・ 次回検討会開催は別途調整し，事務局より連絡する。

2) JEAC4626 と JEAG4607 の改定ニーズについて

- ・ 前回の改定の際に，火災防護検討会側からはエンドースは取り下げたが，JEAC4626 と JEAG4607 を一本化すべきとの意見があった。電力事業者には改定ニーズのみでなく，規格の一本化とエンドースについてのニーズも確認していただき，日本電気協会で議論が出来るように調整していただきたい。

→ 今後それらについても確認していきたいと考える。

以 上